

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

施設名 山梨県富士北麓公園
 所管課 観光文化・スポーツ部 スポーツ振興課
 指定管理者 公益財団法人山梨県スポーツ協会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間			委託料総額 (単位:円)	
財団法人山梨県体育協会	○	H18.4.1	～	H21.3.31	3年	242,238,000
公益財団法人山梨県体育協会 (H24.3.31まで財団法人)	○	H21.4.1	～	H26.3.31	5年	385,190,000
公益財団法人山梨県体育協会	○	H26.4.1	～	H31.3.31	5年	402,259,000
公益財団法人山梨県スポーツ協会 (H31.4.1山梨県体育協会から名称変更)	○	H31.4.1	～	R5.3.31	4年	382,590,217
公益財団法人山梨県スポーツ協会	○	R5.4.1	～	R9.3.31	4年	367,161,838

2 施設の概要

所在地	富士吉田市上吉田立石5000
設置年月日	昭和61年11月1日
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例
設置目的	(1)都市公園としての①～③の機能を発揮すること ①遊び、憩いの場を提供すること ②防災拠点としての機能を発揮すること ③良好な緑地景観、環境を提供すること (2)スポーツの場を提供すること (3)主催事業の実施を通じて、スポーツに親しむ機会を提供すること
主な業務の内容	(1)公園施設及び設置器具等の維持保全 (2)有料施設の利用承認 (3)スポーツ振興のための催しの実施 (4)スポーツの講習会の実施 (5)県が実施する大会等への協力
主な施設内容 (定員等)	○公園面積 31.6ha ○施設の内容 ・第2種公認陸上競技場(敷地面積39,539㎡、トラック、フィールド、メインスタンド、11,105人収容) ・野球場(敷地面積21,172㎡、内外野スタンド、スコアボード、13,459人収容) ・球技場(20,200㎡、フィールド、5,600人収容) ・体育館(延床面積5,575㎡、メインアリーナ、サブアリーナ、2,234人収容) ・屋内練習走路(延床面積1,408㎡) ・フリーウエイトトレーニング室(延床面積352㎡) ・駐車場(大・小・臨時) ・その他(緑地、園路広場)
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	○令和5年12月19日 園路改修工事 (工事金額 18,470,100円) ・球技場車両進入路改修 ・大駐車場階段バリアフリー対応(手摺、点字ブロック設置) ○令和6年3月6日 照明設置工事 (工事金額 11,035,200円) ・野球場北駐車場照明設置2基 ○令和6年3月13日 施設上屋設置工事 (工事金額 41,693,300円) ・ブルペン上屋及び照明設置 ・フリーウエイト屋外設備機器庇設置

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
収入合計	119,256,454	109,302,963	106,937,282	118,377,039	108,068,910	
支出合計	109,740,714	108,156,320	104,062,664	112,658,037	102,690,071	
収支差額	9,515,740	1,146,643	2,874,618	5,719,002	5,378,839	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
利用実績	347,133人	77,389人	77,234人	155,624人	228,727人	公園利用者数
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和5年度)

令和5年5月に、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、様々な規制が大幅に緩和されたことにより、大型イベントや競技会、合宿利用等がほぼコロナ禍前の状況に戻り、R5年度業務計画書において、当初予定していた利用料収入、利用者数を大きく上回ることができた。

運営経費についても、物価高で様々な経費の価格が高騰していることを常に念頭に置き、照明の不要箇所の間引きや小まめな消灯、冷暖房器具の温度設定、消耗物品の節減等に取り組み、コストの削減に努めた。

有料公園施設においては、懸案である球技場天然芝の状態改善に努め、夏場の小まめな散水や播種などを行った結果、比較的長い期間良い状態を維持することができた。

一方で、計画していたスポーツ振興事業は、令和5年度から新たな取り組みを計画したが、予定していた職員の退職などがあり予定どおり実施できなかった。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和5年度)

概ね事業計画どおり指定管理業務を実施している。

コロナが5類に移行したことで、公園利用者が大幅に回復し、スポーツに対する需要も増えてきた中で、柔軟な対応ができていたことは評価できる。

また、健康活動の場の提供のための事業についても、スポーツイベントに関しては目標値を上回る実績となったほか、昨年度より取り組んでいる東京都の「子どもを笑顔にするプロジェクト」として県外の中学生を招き、2日間の独自イベントを実施したことは非常に評価できる。ただし、スポーツ教室事業においては講師との調整や職員の退職もあり、開催が難しい部分があったことは理解できるが、計画立案時点で、調整を終了しておくことや、実施が難しいと判断した場合には、速やかに業務計画の変更等を県に連絡するように指導した。

なお、照明の不要箇所の間引きや小まめな消灯などのコスト削減を行う事により、昨年度よりも光熱水費・燃料費の大幅な経費削減がなされていた点も非常に評価できる。引き続きの対応を指導した。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和5年度)

引き続き、高いコスト意識を持ち、低コストで高いサービスが提供できるよう取り組んでいく。

また近年、ダンスの利用が大幅に増加しているため、体育館会議室や体育館幼児・高齢者体育室の利用促進、また、体育館会議室や富士山の銘水スタジアム(陸上競技場)会議室を利用した企業等の会議・研修などの誘致に取り組み、更なる利用効率の向上に努めていく。

令和5年度に実施することができなかったスポーツ教室については、体育館幼児・高齢者体育室を使用した新たな取り組みを実施する予定であり、これにより県民の皆さまの健康・体力の維持・増進を推進し、事業計画書で提案した目標を達成できるよう取り組む。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

施設名 山梨県富士北麓公園
 所管課 観光文化・スポーツ部 スポーツ振興課
 指定管理者 公益財団法人山梨県スポーツ協会

1 利用状況 (単位:人、%)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	公園利用者数	347,133	77,389	77,234	155,624	228,727
	有料施設利用者数(観客含)	(238,756)	(63,138)	(61,617)	(133,709)	(157,431)
	利用者数合計	347,133	77,389	77,234	155,624	228,727
	目標値	405,010	90,180	77,389	331,070	329,190
	実績/目標割合	85.7%	85.8%	99.8%	47.0%	69.5%
	目標値の設定方法	R1:陸上競技場インフィールド、球技場は利用制限が行われることを考慮し、前年度の利用実績を基に観客等の来園者数として設定 R2~R3:新型コロナの影響や陸上競技場インフィールド、球技場の利用制限が行われることを考慮し、前年度の利用実績を基に観客等の来園者数として設定 R4:新型コロナの影響で令和2年度、3年度の実績が参考とすることが出来ないため、新型コロナの影響が無い令和元年度4月から2月までの実績を使用し設定 R5:新型コロナの影響で令和2年度、3年度の実績が参考とすることが出来ないため、新型コロナの影響が無い令和元年度4月から2月まで及び平成30年3月の実績を使用し設定				
利用率	稼働率等(利用率)	951人/日	212人/日	211人/日	426人/日	625人/日
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者数/営業日数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	・小瀬スポーツ公園 ・緑が丘スポーツ公園
----------	-------------------------

3 補修工事等の状況(令和5年度) (単位:円)

管	小駐車場区画線補修	476,954
管	フリーウエイトトレーニング室外壁修繕	339,900
管	陸上競技場北倉庫手動軽量シャッター修繕	327,800
管	陸上競技場南倉庫手動軽量シャッター修繕	327,800
管	陸上競技場掲揚ポールロープ取替修繕ほか19件	3,362,733

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施
 *ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和5年度) (単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
3	公募	売上額の5%~23%	672,157	
1	公募	売上額の20%	131,308	
2	公募	売上額の20%~29.45%	530,162	
1	公募	売上額の32%	253,803	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収 入	A 収入額計	119,256,454	109,302,963	106,937,282	118,377,039	108,068,910
	施設利用料	20,106,954	12,274,120	9,858,408	17,894,042	16,651,824
	指定管理委託料	94,790,651	92,338,355	92,440,979	97,289,031	88,265,838
	追加委託料(感染症)	1,527,612	2,345,807	1,857,782		
	スポーツ振興事業収入	944,060	718,190	804,280	1,099,010	537,460
	自動販売機手数料	1,365,325	925,505	814,373	1,180,312	1,587,430
	その他	521,852	700,986	1,161,460	914,644	1,026,358
支 出	B 支出額計	109,740,714	108,156,320	104,062,664	112,658,037	102,690,071
	人件費	29,200,008	32,837,978	31,373,364	31,119,596	29,478,555
	光熱水費	8,537,461	7,257,825	7,276,924	13,146,730	9,313,237
	修繕費	3,756,643	4,406,497	3,415,390	4,568,202	4,835,187
	報償費	70,400	20,000	37,280	38,320	10,400
	旅費	89,149	22,126	15,186	81,673	30,044
	消耗品費	3,004,846	2,577,086	1,330,089	1,762,836	1,932,035
	燃料費	666,548	866,926	958,275	1,049,697	854,212
	印刷製本費	661,432	406,875	395,328	514,689	328,622
	通信運搬費	210,524	200,941	209,261	237,332	234,679
	手数料	814,351	629,092	939,007	677,699	1,305,273
	保険料	330,380	400,460	94,040	135,020	93,800
	使用料及び賃借料	585,025	695,529	751,750	899,606	737,176
	運営諸経費	1,120,818	562,751	563,814	266,420	
	備品購入費	2,916,650				
	公租公課費	3,200,337	3,560,346	3,521,620	3,843,209	3,563,316
	スポーツ振興事業支出	1,268,210	769,256	1,092,326	1,143,711	548,220
	その他	5,000	5,000		16,720	635
	外部委託費	53,302,932	52,937,632	52,089,010	53,156,577	49,424,680
	植栽管理	29,543,415	28,701,255	28,710,000	28,753,000	33,339,000
	設備管理	6,606,770	6,618,612	6,619,712	7,353,302	6,640,983
	清掃管理	7,024,229	7,088,675	7,088,675	7,088,675	8,448,000
	スポーツ振興業務他	8,438,188	9,675,600	8,817,133	9,471,000	
	警備業務	431,640	435,600	435,600	435,600	435,600
	その他 除雪他	1,258,690	417,890	417,890	55,000	561,097
外部委託比率	48.6%	48.9%	50.1%	47.2%	48.1%	
県への納付金						
収支差額(A-B)	9,515,740	1,146,643	2,874,618	5,719,002	5,378,839	
一人当たり指定管理者委託料*	273.1	1,193.2	1,196.9	625.2	385.9	

* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
C 収入額計	267,620	155,850	960,060	1,171,824	1,154,260
D 支出額計	89,746	41,761	639,574	1,166,821	842,387
収支差額(C-D)	177,874	114,089	320,486	5,003	311,873

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	売店事業	利用者	体育館
2	富士北麓Challenge Day	東京都 中・高生	全施設
3			
4			
5			

7 利用者満足度

実施方法等	実施時期:令和5年4月～令和6年3月 実施方法:公園利用者へのアンケート 回答数:530人			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
花や木々について	68.5%	30.6%	1.0%	
トイレや休憩所について	60.8%	33.7%	3.9%	1.6%
園路や広場について	70.8%	29.1%	0.2%	
園内情報・案内板について	66.5%	31.9%	1.6%	
自動販売機について	66.8%	31.4%	1.4%	0.4%
公園スタッフの対応について	71.7%	27.9%	0.4%	
施設全般の満足度	71.1%	27.7%	0.8%	0.4%
利用者の主な意見	【施設・設備】 ・バスケットゴールを出しやすいようにしてほしい。 ・体育館の床が滑りやすい。 ・体育館がとても寒いので、暖房を入れてほしい。 ・体育館に冷房をつけてほしい。 ・自動販売機を増やしてほしい。 【環境】 ・富士山がキレイに見えてよい環境です。			
利用者の意見への対応	【施設・設備】 ・バスケットボール用ゴールを収納している体育館倉庫は、不要物品の廃棄や収納備品の整理を行うとともに、利用頻度が高いフットサルゴールとバスケットゴールの導線が広くとれるよう改善した。 ・体育館フロアが滑りやすいことについては、シューズ痕を除去するとともに、体育館フロア用グリップ強化剤を塗布した。 ・体育館への冷暖房設置に対する要望については、意見交換会の場などを通じ県スポーツ振興課及び富士・東部建設事務所に報告した。 ・自動販売機の増設については、売上額を勘案し早急に増設することは困難な旨の回答を掲示し理解を求めた。利用者のニーズに合う商品を販売できるよう、自販機業者と相談し、改善を図っていく。			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理 業 務	<p>業務計画書に基づき、適正に業務を執行した。</p> <p>令和5年度は、体育館前小駐車場区画線の塗装補修や球技場播種を2回行うなど、利用環境の向上に努めた。</p> <p>また、備品管理では備品シールの張替や、不要となった備品を廃棄するなど、適正な管理を心掛けた。</p> <p>各施設は、老朽化が進んでいる箇所も多いことから、利用者が頻繁に使用する箇所から優先して修繕を行った。</p>	<p>業務計画書に基づき概ね適切に維持管理を実施しており、利用者からの満足度も高い。</p> <p>今後も適切な維持管理を行い、利用者が安全で快適に利用できる環境整備に努めるとともに、保守点検等に留意し、施設・設備の老朽化による不具合に即座に対応できる体制を整えること。</p> <p>また、指定管理者による修繕数が昨年度実績と比較して、増加している点は、評価できる。</p>
運営業務	<p>新たに導入することとなったキャッシュレス決済は、4月1日から運用を開始し、クレジットカード、電子マネーQR決済各種を利用可能とし、利用者の利便性の向上を図った。</p> <p>令和5年度に実施された監査において、監査委員からあった意見により、経年劣化して使用することができない備品等を廃棄するとともに、再度備品の整理を行うなど適正な管理に努めた。</p> <p>利用案内は、ホームページを活用するほか、各施設に空き情報を掲示し、利用促進に努めた。</p>	<p>積極的な情報発信を行うことで、来園しやすい環境の提供に努めた。</p> <p>また、利用者ニーズに応じて柔軟な対応を講じていた。新たにキャッシュレス決済を導入することで、利用者の利便性向上につながった。</p> <p>監査で指摘され事項に関しても、廃棄処理の対応を行い、再度備品整理を行うなど適正な管理に努めたことは評価できる。</p> <p>今後も適切な運営業務を行い、利用者の満足度向上に向けた環境づくりに努めること。</p>
利用状況	<p>新型コロナウイルス感染症が5類移行後は、競技会やイベント、県外利用者の合宿など、ほぼコロナ禍前の利用状況に戻り、昨年度を上回る利用者数となった。</p> <p>富士吉田市内に民間フィットネスジムが増加したことにより、トレーニング室2施設の利用は芳しくなかったが、ワンポイントレッスンなど地道な取り組みにより、年度末にかけ緩やかに利用者の増加が見られた。</p> <p>このほか、なでしこリーグの開催等で、当施設に来園する方が増加した。</p>	<p>新型コロナウイルスが5類に移行した影響もあり、利用者数は昨年度の約1.7倍近く、新型コロナウイルス流行前の利用者数に戻りつつある。また、昨年度当初時点では、一部施設の予約がほとんどなかったが、広報等により、予約がある程度埋まった。</p> <p>今後、さらなる利用者の増加が予想されるため、安心安全な環境の提供に努めるとともに、利用者ニーズに応じたイベント等の実施について工夫すること。</p>
収支状況	<p>コロナ禍の様々な制限が大幅に緩和されたことにより、当初予定した利用料収入を上回ることができた。</p> <p>経費については、様々な経費が高騰しているなか、富士ウッドストレート照明の間引きによる電気の節減や、フリーウェイトトレーニング室エアコンの温度設定固定化によるガスの節減などに取り組んだ。</p> <p>人件費については、臨時職員2名の退職があり、後任も希望者が無くアルバイトで補完したことにより、当初予定した経費を下回った。</p>	<p>支出では、光熱水費や燃料費が各種取り組みによって、大幅に削減することができた点は評価できる。</p> <p>収入においては、施設利用料は昨年度実績と比較して、減少となってしまったが、R5年度業務計画書において、当初予定していた利用料収入を大きく上回ることができた点は評価できる。また、自動販売機手数料やその他の収入を増加させることで、更なる収入源の確保ができた点は評価できる。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

<p>自主事業</p>	<p>東京都教育委員会が行う「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」に県スポーツエンジンとともに参画し、東京都の中高生を対象に「富士北麓Challenge Day」を2回開催した。 また、継続して実施している管理事務所窓口でのスポーツ用具の貸出、販売は、利用者から好評を得ており、利用促進の一助となった。</p>	<p>昨年度から取り組み始めた東京都の「子どもを笑顔にするプロジェクト」として県外の中高生を招き、2日間の独自イベントを実施したことはおおいに評価できる。 利用者から好評を得ているスポーツ用具の貸出、販売を継続して実施し、利用促進の一助とするよう努めること。 今後も、新たな試みに積極的に取り組んでいき、公園利用者数の増加を目指すこと。</p>
<p>利用者満足度</p>	<p>利用者からは高評価をいただいている。 利用者からご意見をいただいたものうち、直ちに対応可能なものについては、迅速に対応した。 特に、「体育館フロアが滑る」というご意見については、通常利用での怪我の発生リスクの他、令和6年度の国民スポーツ大会関東ブロック大会バスケットボール競技にも影響を及ぼすため、直ちに対応した。</p>	<p>利用者からの声に柔軟に対応しながら、適切な運営管理を行った。 今後も利用者のニーズを把握し、さらに満足度を高められるよう努めること。</p>

9 施設所管課による定期評価結果

<p>施策推進業務の内容</p>	<p>評価</p>	<p>改善内容</p>
<p>施設の利用促進業務</p>	<p>県民の健康の維持増進やスポーツの振興のため、運動施設を利用したスポーツによる健康づくり・体力づくりの場を提供するという公園設置の目的に対する達成度を把握するため、次の3項目を設定し、評価した。 この結果、「運動施設の年間利用者数」のみ目標を達成できた。 目標を達成できなかった「スポーツ振興イベントの参加者数」に関しては、一部イベントの広報活動において、R4年度までは教育機関の協力があつたが、R5年度においては、教員の業務改善などの影響もあり、十分な周知がはかれなかったため、一部イベントが定員に達しなかった。 また、「スポーツ教室の参加者数」についても、担当職員の退職や、講師との条件調整や各スポーツ教室の周知も図れず、参加人数が少なかったため、目標を達成できなかった。 R6年度では、確実に目標が達成できるように計画を立案する必要がある。 スポーツ振興イベントの参加者数 【R5年度目標値】 1,430人 【R5年度実績】 965人 スポーツ教室の参加者数 【R5年度目標値】 520人 【R5年度実績】 88人 運動施設(陸上競技場、体育館、武道館等)の年間利用者数 【R5年度目標値】 133,709人 【R5年度実績】 157,431人 施設の利用促進という観点においては、運動施設の年間利用者数が目標値を約2万4千人上回っているため、施設の利用促進につながっていると評価できる。</p>	<p>目標値を達成することができた指標に関しては、利用者ニーズに応じた柔軟な対応と共に、スポーツイベントの内容について工夫し、更なる利用者の満足度向上に繋げること。 なお、目標値を達成することができなかった指標に関しては、年度途中で、計画変更を行ったことや、人員の減少や、講師の日程確保や会場等の調整が難しかった点は理解できる。しかし、会場確保や講師の日程など様々な要因で調整することが難しいことも想定した上で、計画を立案すべきである。また、計画に変更すべき事由が発生した場合は、速やかに計画変更の届出を行うこと。その際には、講師との諸条件調整や会場確保、広報の方法など様々な視点から計画を検討・設定することを求める。また、SNSを活用した広報などを積極的に利用し、様々な手段で広報・募集活動を行うこと。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

10 管理体制(組織図)

令和5年4月1日現在

